

予算決算委員会（全体会）記録

[後期全体会・当初予算分]

1 日 時 令和4年3月22日（火曜日）

開 会 午後 1時08分

閉 会 午後 1時20分

2 場 所 議 場

3 出席委員 35人

委員長 金 厚 有 豊

副委員長 佐 藤 則 寿

委 員 金 岡 貴 裕

// 藤 田 克 樹

// 柏 佳 枝

// 織 田 伸 一

// 澤 田 和 秀

// 高 原 讓

// 田 辺 裕 三

// 豊 岡 達 郎

// 吉 田 修

// 久 保 大 憲

// 松 井 邦 人

// 金 谷 幸 則

// 泉 英 之

// 岡 部 享

// 上 野 蛭

委 員	舍 川 智 也
//	押 田 大 祐
//	江 西 照 康
//	高 田 真 里
//	東 篤
//	大 島 満
//	谷 口 寿 一
//	成 田 光 雄
//	松 尾 茂
//	尾 上 一 彦
//	橋 本 雅 雄
//	松 井 桂 将
//	横 野 昭
//	村 石 篤
//	鋪 田 博 紀
//	高 田 重 信
//	赤 星 ゆかり
//	柞 山 数 男

4 欠席委員 2人

委 員	飯 山 勝 彦
//	竹 田 勝

5 地方自治法第105条の規定により出席した者

議 長	高 道 秋 彦
-----	---------

6 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課長	野嶽	誠司
議事調査課長代理	中山	崇
議事調査課議事係長	酒井	優
議事調査課主査	熊谷	法子
議事調査課主事	木戸	雅人

7 会議の概要

委員長 ただいまから、予算決算委員会を開きます。
本日の審査日程は、お手元に配付のとおりであります。
これより、各分科会長の報告を求めます。
まず、高田総務文教分科会長。

総務文教分科会長 総務文教分科会での審査につきまして、御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件3件の審査を行いました。以下、審査の概要を申し上げます。
初めに、議案第1号中、企画管理部所管分の企画事務費について申し上げます。
委員から、市町村合併については、旧の町村が十分に恩恵を受けていないという意見も聞かれる。
市町村合併の検証を行う際には、過去にとられることなく、合併の効果や課題を今後どのように生かしていくのかを冷静に検証すべきと考えるが、どのように取り組んでいくのかとの質問がありました。
これに対し当局から、令和3年度は、各部局の次長及び当時の合併協議会に在籍していた職員を含むメンバーで検証チームを構成し、

新市建設計画の内容やその進捗状況の確認、人口や職員数、財政指標などの検証項目の洗い出しに、全庁を挙げて取り組みました。その上で令和4年度については、第三者機関として、専門家による合併検証のための有識者会議の設置を予定しており、客観的かつ透明性の高い検証を行っていただくこととしております。

将来市民のためにも、合併の意義や効果も含めて、しっかりと検証していきたいと考えておりますとの答弁がありました。

また、議案第1号中、企画管理部所管分の企画事務費及び展覧会開催事業費について、次のような意見の表明がありました。

まず、反対意見について申し上げます。

シクロシティ株式会社に支払う広告掲出費用等にかかる金額は、自転車市民共同利用システム「アヴィレ」の運営費用を支援する目的で交わした契約に基づくものであり、令和3年度までの支出額と令和4年度予算額を合計すると、約1億7,000万円にも上る。

広告の掲出やガラス作品の展示を行うにしても、別の方法であれば、市内の広告業者や障害者の方々の仕事を生み出し、これほど多くの費用もかからないのではないかと考えることから、事業の見直しを求めるという観点か

らの反対意見がありました。

次に、賛成意見について申し上げます。

当該広告については、シティプロモーションなどを効果的に行うための大切な広告である。広告を見た方には、事業に対して関心を持ってもらえると考えており、また、広告料については、各事業において必要な精査をされた金額が計上されているという観点からの賛成意見がありました。

以上、総務文教分科会の分科会長報告といたします。

委員長

ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

質疑なしと認めます。

次に、成田厚生分科会長。

厚生分科会長

厚生分科会での審査につきまして御報告いたします。

当分科会では、送付されました予算案件7件の審査を行いました。

以下、審査の概要を申し上げます。

議案第1号中、こども家庭部所管分の保育士
宿舎借り上げ支援事業について申し上げます。
委員から、本事業は、県外から富山市に転入
し、市内の私立保育施設に勤務する保育士を
対象としているが、県内の他市町村に実家がある方が、休日や早朝、延長保育に対応するため、実家から通うことが困難な場合もあると思われる。そういった方は本事業の対象とならないのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、まずは、県外から富山市に転入する方を対象として事業を実施したいと考えておりますので、県内に実家がある方については対象としておりませんとの答弁がありました。

また、委員から、実際に事業を行う中で、事業所内の保育士間で不公平感が出てくる可能性もあるが、事業の拡充も検討していくのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、対象者を広げるには、財源の確保が必要であり、また、保育人材を確保したいのは富山市だけではないという状況も踏まえ、まずは、県外からの転入者という枠組みで実施し、動向を見ていきたいと考えておりますとの答弁がありました。

以上、厚生分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、押田経済環境分科会長。

経済環境分科会長 経済環境分科会での審査につきまして御報告いたします。
当分科会では、予算案件7件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
初めに、議案第1号中、環境部所管分の家庭ごみ有料化推進事業について申し上げます。
委員から、家庭ごみ有料化の検討を進めるに当たり、市民の意見も丁寧に求めていく必要があると考えるが、どのように考えているのかとの質問がありました。
これに対し当局から、ごみの問題は世界的にも非常に問題となっており、持続可能な社会の構築のために、行政・事業者・市民が一体となって、ごみの発生抑制に取り組んでいく必要があると考えております。
その1つの方法として、家庭ごみ有料化の導

入を考えておりますが、これは有料化ありきで進めているわけではなく、検討を始めた段階であります。

今後も慎重に検討を重ねながら、市民の皆様の御理解が得られるよう、丁寧に説明を行いながら、取り組んでまいりたいと考えておりますとの答弁がありました。

次に、同じく議案第1号中、農林水産部所管分の割山森林公園天湖森整備事業について申し上げます。

委員から、公園のリニューアルを行うに当たり、グランピングやバレルサウナなど、冬季期間に人気が高まる施設を整備する予定とのことだが、現状では、除雪を行えていない部分があると聞いている。

利用者が希望されるサービスを、通年で提供できるようにする考えはあるのかとの質問がありました。

これに対し当局から、天湖森は、これまで、冬季期間の利用率が低く、利用率の向上を図ることもリニューアルの目的の1つとしております。

冬季期間のサウナ利用の流行などを踏まえ、該当部分の除雪について指定管理者と協議を行うなど、冬季期間の利用率向上に向けて、今後検討してまいりたいと考えておりますと

の答弁がありました。

以上、経済環境分科会の分科会長報告といたします。

委員長 ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。
質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 質疑なしと認めます。
次に、金谷建設分科会副会長。

建設分科会副会長 分科会長が都合により出席できませんので、私が代わって、建設分科会での審査につきまして、御報告いたします。
当分科会では、送付されました予算案件6件の審査を行いました。
以下、審査の概要を申し上げます。
まず、議案第1号中、活力都市創造部所管分の高山本線活性化推進事業について申し上げます。
委員から、JR高山本線を活性化するためには、乗車しやすい方法を考えることが大切であると考えますが、市などが補助をして、全国共通交通系ICカードの利用ができるよう検

討できないのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、JR西日本からは、現時点では、高山本線における交通系ICカードの導入の予定はないものと同っております。

ICカードシステムの導入には高額な費用負担が必要となることから、本市としては、すぐに実行できる取組として、来年度は、高齢者向けの運賃施策実証実験を行ってまいりたいと考えておりますとの答弁がありました。次に、議案第16号 令和4年度富山市賃貸住宅・店舗事業特別会計予算について申し上げます。

委員から、奥田団地については、耐震化から用途廃止へと方針を転換されたが、用途廃止が遅れた場合は、周辺への影響も含めて、どのようなリスクがあると考えているのかとの質問がありました。

これに対し、当局から、奥田団地は、鉄筋コンクリート造の建物であり、Is値と呼ばれる構造耐震指標が極めて低い値となっております。

これは、震度6から震度7程度の地震で倒壊や崩壊の可能性が高いレベルとされております。

また、昨年度、コンクリートの再調査を行っ

たところ、深刻な劣化が進んでおり、当局としては地震発生時の不安が高まっていると認識しております。

地震による建物の倒壊で人命に損害が出れば、取り返しのつかないことになると考えており、また、建物の瑕疵により倒壊した場合には、損害賠償責任により莫大な財政負担が生じるというリスクがあるものと考えておりますとの答弁がありました。

以上、建設分科会の分科会長報告といたします。

委員長

ただいまの分科会長報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

質疑なしと認めます。

以上で、質疑は終結いたしました。

これより、議案第1号を起立により、採決いたします。

本案件は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

委員長

起立多数であります。

よって、本案件は、原案可決されました。

次に、議案第2号から議案第20号まで、以上19件を一括して、採決いたします。

各案件は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

御異議なしと認めます。

よって、各案件は原案可決されました。

これで、3月定例会の当委員会に付託されました全議案の審査は終了いたしました。

委員各位に御相談申し上げます。

委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。

これをもって、令和4年3月定例会の予算決算委員会を閉会いたします。

令和4年3月定例会
予算決算委員会（全体会）記録署名

委員長 金 厚 有 豊

署名委員 大 島 満

署名委員 谷 口 寿 一